

「京都市みどりの基本計画2026」 市民意見募集の結果

1. 意見の募集期間

令和8年1月6日（火）～2月10日（火） 計36日間

2. 意見募集の周知方法

- (1) 市役所庁舎案内所、各区役所・支所・出張所、各土木みどり事務所及び指定管理公園における意見募集冊子の配架
- (2) 京都市ホームページへの掲載
- (3) 市民しんぶん2月1日号への掲載
- (4) 「みっけ隊」アプリへの掲載
- (5) 公園愛護協力会、街路樹サポーター等のボランティア団体への周知はがきの送付
- (6) 審議会・部会委員や視察先事業者等を介した関係者への周知

3. 募集結果

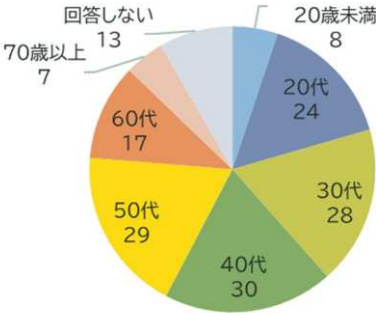
① 意見者数

156名

（意見募集フォーム135名、郵送11名、FAX4名、メール1名、持参5名）

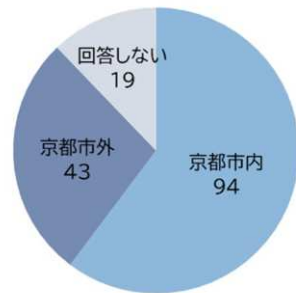
② 意見者数の内訳

(1) 年齢別



20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	回答しない	合計
8 (5%)	24 (15%)	28 (18%)	30 (19%)	29 (19%)	17 (11%)	7 (4%)	13 (8%)	156 (100%)

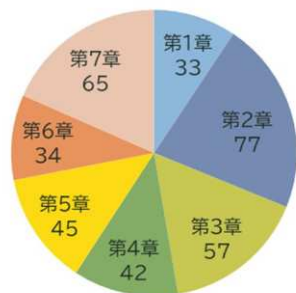
(2) 居住地別



京都市内	京都市外	回答しない	合計
94 (60%)	43 (28%)	19 (12%)	156 (100%)

4. 意見の内容

① 特に興味や共感を持った章(複数回答可、n=149)



第1章	第2章	第3章	第4章	第5章	第6章	第7章
33 (21%)	77 (49%)	57 (37%)	42 (27%)	45 (29%)	34 (22%)	65 (42%)

② 京都市内でお気に入りのみどりやみどりの風景

みどりの分類	主な御回答(一部要約あり)
自然のみどり (山、丘、 竹林、草地)	京都三山(東山、北山、西山)、比叡山、愛宕山、大文字山、市街地から見える盆地・周囲の山々の景色、鴨川から望む山々
	吉田山(吉田山緑地)、船岡山
	嵐山の竹林、西京区の竹林
	宇治川向島地区ヨシ原
営みのみどり (林業地、農地)	比叡山山麓の畑、大原野の里山風景・集落
水辺のみどり (川、池、疏水)	鴨川・賀茂川、鴨川デルタ、高野川、桂川(渡月橋)、小畑川、天神川、貴船の川床
	宝ヶ池、大蛇ヶ池、岩倉長谷町飛驒池
	琵琶湖疏水(山科の疏水沿い、四宮から蹴上付近)

身近なみどり (公園、街路樹、 雨庭、校庭)	宝が池公園、梅小路公園(朱雀の庭・いのちの森)、円山公園、二条公園、大蛇ヶ池公園、竹田公園、東山自然緑地、小畑川中央公園(サクラ並木)
	御池通(ケヤキ)、堀川通(イチヨウ)、加茂街道、北大路通、木屋町通、桂坂(モミジバフウ)、ローム(メタセコイヤ)、高野川沿い(サクラ)、半木の道(シダレザクラ)、哲学の道、JR二条駅前(サクラ)、天神川沿い(サクラ)、きぬかけの路、京都府立植物園入口(ケヤキ)、祇園白川・鴨川沿い(サクラ)
	各地にある雨庭
	学校のみどり
文化的なみどり (庭園、坪庭、 社寺林、名木)	無鄰菴、詩仙堂、祇王寺、圓通寺(借景)、朱雀の庭、慈照寺(茶室の露地)、北野天満宮、竜安寺、仁和寺、南禅寺、高台寺、曼殊院門跡、詩仙堂、銀閣寺、大原三千院
	糺の森(下鴨神社)、法然院の社寺林、鞍馬寺・貴船神社の社寺林、鷲森神社の森
	円山公園のサクラ、京都御苑のマツ、出水の小川のサクラ、京北地域(栃本、周山、黒田)のサクラ
特徴的なみどり (植物園、 御苑、御所、 離宮、陵墓)	京都府立植物園、京都薬用植物園
	京都御苑
	京都御所
	桂離宮 桃山御陵
緑化のみどり (建物の緑化、 敷地の緑化)	町屋の植栽、民家の玄関先の植木鉢、公共施設の緑化、京都市緑化協会
特定の地域	大原、鞍馬、貴船(木の根道)、嵐山、洛西(洛西ニュータウン)、山越
生きもの	サクラ、モミジ、アジサイ、ハナミズキ、ドウダンツツジ、クヌギ(どんぐりの木)
	夏のカエルの声、ツバメの集団ねぐら

③ 御意見(自由記述)

意見総数 416件

項目	件数
計画全体	(121)
① 計画全体	50
② みどりの「質の充実」	29
③ 「多様な連携」	16
④ みどりの「多機能性」	14
⑤ 「京都の特性」	12
第1章「理念」	4
第2章「みどりの魅力」	29
第3章「みどりの展望」	(45)
① 「みどりの展望」全体	3
② 鳥瞰図・現況図	5
③ 将来の姿	37
第4章「一人ひとりにできること」	6
第5章「計画の概要」	50
第6章「方針・施策の方向性」	6
第7章「みどりの取組」	120
資料編	9
その他	26
合計	416

5. 御意見に対する考え方

別紙「御意見の要旨及び御意見に対する考え方」に示しております。

「京都市みどりの基本計画2026」市民意見募集の結果 別紙
御意見の要旨及び御意見に対する考え方

★：計画に反映する内容を表す

計画全体に対する御意見

① 計画全体に関連するもの（意見50件）

御意見の要旨	御意見に対する考え方
<p>001) 全体の構成について、これまでの総花的にアクションプランを列挙しただけの行政計画から一線を画し、市民の感覚に訴える内容となっており、素晴らしいと思います。</p> <p>002) 行政計画は、文字ばかりでわかりにくいことが多いので、革新的だと感じました。</p> <p>003) 写真や絵によりビジュアル的に分かりやすく、市民が緑を再発見し誇りを持てる内容でとても良く、新しいと感じました。</p> <p>004) こんなに見やすく読みやすい計画は初めてで、役所らしくなくていいです。</p> <p>005) 美しいパンフレットのように、京都にはこんなに素晴らしい緑があるのかと感動しました。</p> <p>006) 京都の魅力が伝わってきて、素晴らしいです。</p> <p>007) 京都は歴史文化が深く、緑との調和も重要なので、このような取組は良いと思いました。</p> <p>008) 第2、3章は写真等に目が行き内容が薄れ、第4、5章はとてもわかりやすく解説されています。全体を通してとても良い計画だと思いました。</p> <p>009) 素敵な写真やイラストで京都のみどりの魅力に気付きました。</p> <p>010) 市内を網羅した内容であり、生活の中にみどりがあることを実感しました。</p> <p>011) 緑の大切さを自覚し、世界に誇れる緑を将来に残せる計画になるのではないかと思います。</p> <p>012) 計画に多くの写真が活用されていることで、みどりの持つ意味を理解し、その大切さを実感しました。</p> <p>013) 計画が見やすく良かったです。</p> <p>014) 挿絵が豊富で見やすく、京都らしさのある計画だと思います。</p> <p>015) 従来の計画のイメージと違い、写真を多数掲載した内容でとても読みやすく感じました。</p> <p>016) 写真やデザインを前面に出した計画は、皆さんに読んでもらえる新しい計画で大変良いと感じました。</p> <p>017) 行政の計画にしては、表現が柔らかく読み物としても大変興味深かったです。</p> <p>018) 写真やイラストが豊富で、従来よりも「読む気」が湧く計画です。</p> <p>019) 写真や絵画を用いた工夫により、将来のイメージを共有しやすく良かったです。</p> <p>020) 京都市のみどり行政の理念や目指すべき将来の姿がイメージしやすかったです。</p> <p>021) 全体的に写真やイラストを用いていて、分かりやすくイメージしやすく、理解が進む構成やデザインになっています。</p> <p>022) 行政計画としては写真が多用されており、分かりやすいです。</p> <p>023) 読みやすく、わかりやすい点は評価できます。</p> <p>024) 全体を通して項目ごとに内容もわかりやすく、新しい発見もあり勉強にもなりました。</p> <p>025) 京都のみどりの魅力が、非常に丁寧にわかりやすく表現されていると思います。</p> <p>026) 京都の緑は様々な緑で構成されていることを改めて認識できるし、多くの写真や絵画による構成は親しみやすいです。</p> <p>027) 計画に景観の写真もたくさんあり、訪れたことのある場所もあり、身近なものとして見ることができました。</p> <p>028) 職員が撮影した写真により、京都に小旅行に行ったような気分になりました。</p> <p>029) 誌面の仕上げが美しいと思います。</p> <p>030) 美しい写真や絵画で、手に取りたいと思わせる体裁です。</p> <p>031) 京都市のみどりの魅力が視覚的に魅力が伝わり、シビックプライドがより一層高まる計画になっていると思いました。</p> <p>032) どの章にも興味があり、とても綺麗で見やすかったです。</p> <p>033) 親しみのある場所の写真や多様なタッチの将来の姿が掲載されていておもしろかったです。</p> <p>034) 写真やイラストを多用し、緑の魅力や展望が伝わる構成になっていて良いと思いました。</p> <p>035) 美しい写真が多く掲載されており、良かったです。</p> <p>036) デジタルブックの利点を活かして、京都のみどりの魅力を写真を多用することは、良い工夫であると思います。</p>	<p>本計画には、「京都の美しいみどりを愛するみなさまとともに、みどりの魅力や展望を共有して未来に向かう」、つまりは、市民や事業者、更には京都に関わるすべてのみなさまと、京都の魅力的なみどり等を共有して、協力しながら一緒に理念の実現に取り組んでいく計画にしたいとの思いを込めています。</p> <p>この「みなさまと一緒に取り組む」という考えは、審議会や部会でも再三御意見としていただき、計画全体を通じて、硬い行政用語や専門的な用語はできる限り使用せず、写真、図及び絵画を積極的かつ効果的に使用することで、より多くのみなさまに興味や理解、共感を持って読み進めていただけるような誌面を目指しています。</p> <p>今後、みなさまとともに、理念に掲げる「山紫水明に息づく文化とともに 彩りあふれる千年先の京都へ」の実現に向け、取組を進めます。</p>

037) 写真や絵が多く見やすい資料としました。	
038) 全体的に写真や絵を多用されており、見て楽しいものになっていると感じました。	
039) 掲載写真が京都市のみどりの魅力をよく捉えており、他都市の方にも様子がよくわかると思います。	
040) 写真を見ているだけで楽しくなりました。	
041) この計画で、素敵な場所や興味を持った場所もできたので参考にしたいです。	
042) キーワードや固有名詞にリンクが張ってあるのが良かったです。	
043) 今後の計画期間やその先が楽しみになる内容だと思います。	
044) 京都に移住した者であるが、疏水夷川や三山、鴨川が織りなす美しい景観や緑の維持と、まちづくりを担う市政の方々に感謝しています。	
045) ひらがな表記の「みどり」は身近に感じられ、内容もよくまとめられています。	
046) 計画のような、見やすいホームページに改善してほしいです。	本計画については、策定後、ホームページにおいてデジタルブックとして幅広く発信する予定です。 いただいた御意見も踏まえ、子どもや海外の方にも御理解いただける内容の情報発信を行うなど、ホームページを充実し、幅広く情報発信に取り組みます。
047) ホームページにおすすめアクションを発信してほしいです。	
048) 小学生でも興味を持ちやすい内容であるため、教室に置くなどの取組も良いと思いました。	
049) 全体的にボリュームが多く、計画の重要な部分の「第6章 方針・施策の方向性」に行きつくまでに時間がかかり、読み疲れが生じると感じます。	ページ数等については、写真、図及び絵画を積極的に使用し約100頁に及びますが、文章は、硬い行政用語や専門的な用語はできる限り使用せず、端的で分かりやすい内容としています。
050) 計画が複雑で、第5章以降はややこしい印象ですが、行政ではそのようなこともよくあると思います。	

計画全体に対する御意見

② みどりの「質の充実」に関連するもの（意見29件）

御意見の要旨	御意見に対する考え方
051) この計画において、景観政策等と複合的に考え、緑の量だけでなく質の向上を重視する方向性は結構かと思えます。	人口減少社会にあることや京都の成熟した土地利用を背景に、今後も緑被率の維持・向上に取り組むとともに、みどりの質の充実により重点を置いた取組を進めます。
052) みどりの質を高めるため、一人ひとりができることを考えて行動することが必要だと感じました。	
053) 京都らしい緑空間の創出に期待しています。	
054) 量を追い求めるのではなく、質を重視するために目標数値を掲げない方針を支持します。	
055) 緑との共生をより加速させるポイントがとても良かったと思えます。	
056) これからの都市整備は、道路よりも公園・河川に、機能性・利便性よりも環境・文化・憩いに重点を移すべきだと思います。	
057) 緑の量を増やすだけでなく、生物多様性や景観、日本庭園の思想を踏まえた空間づくりなど、「質」を重視した点が大変意義深いと感じました。	
058) 適切な維持管理によって住む者にとっても訪れる者にとっても双方に利点のある環境を作してほしいです。	みどりの管理については、本計画の「計画の背景とポイント」(P61)で示しているとおり、マネジメントの観点が必要な社会的期待の一つであると考えています。 本計画においては、その重要性に鑑み、施策の方向性「世界に誇る造園力を活かしてみどりの質を高める」(P80)を掲げ、マネジメントの重要性の視点を盛り込んでいます。 今後の施策の検討・展開においては、より一層みどりのマネジメントを適切に行うよう取組を進めます。
059) みどりの保全、緑化に加え、計画全体に適切なみどりの管理という視点を加える必要があると感じます。	
060) 人口減少社会において、民有地と公有地の双方で管理が課題です。	
061) 適切な維持管理とのバランスが大事だと思います。	
062) 健全なみどりの維持に不可欠な法的、人的、組織的、経済的な仕組みを計画的に進める考えに賛成します。	
063) インフラの老朽化が進む中で、適切なみどりの管理を行う工夫をしてほしいです。	
064) 民間活力や新技術、市民協働を活用し、老朽化したみどりを適切に管理する必要があります。	
065) 敷地が限られた場所での防災と緑の活用について、具体的な事例やイメージが示されると理解しやすいです。	質の高いみどりの活用モデルを提示することは、イメージの共有やその実現に重要であると考えています。 いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。
066) 狭小空間の緑化手法や防災拠点と連携したみどりの活用モデルの提示で、計画の実効性が高まると考えます。	
067) 巨木化による景観悪化や管理負担を抑え、質の高いみどりが多くなることを望みます。	みどりの質の充実に当たっては、様々なみどりのはたらきを踏まえ、よりの確なマネジメントを目指します。 いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。
068) 災害や犯罪のリスクを抑えるため、みどりの適切な管理を促進してほしいです。	
069) 植栽後の水やり等の適切な維持管理や、枯れにくい樹種の選定などについて、計画に盛り込んでほしいと思えます。	

070)	管理されず放置された雑草などによる景観の悪化に対応してほしいです。
071)	歴史的景観との調和を考え、将来を見据えた植栽を行う必要があると感じました。
072)	植栽に当たって、温暖化による管理の難しさを考慮し、実験的に範囲を広げていく手法が良いと考えます。
073)	公園という箱物も不要で、維持管理に負担がかかる公園の新設は控え、既存の公園の質を維持してほしいです。
074)	個人所有の森林など未管理の森林がもたらす災害リスク等の負の側面を分析し、対策を講じてほしいです。
075)	市民の健康増進や観光分散のため、山林を明るく開かれた場所へ整備してほしいです。
076)	京都市内に手入れの行き届いた緑が多く癒されるスポットを増やしてほしいです。
077)	伏見の龍谷大学の新しい建物のように、植物が自然な感じの壁面緑化を増やす計画も良いのではないですか。
078)	都市化が進む中で街中の緑量が少ないと感じるため、敷地緑化の簡便な助成金制度について検討してほしいです。
079)	みどりを育てる視点から、リサイクル等の取組による維持管理に関する記載が少しあるとよいと思いました。

計画全体に対する御意見

③ 「多様な連携」に関連するもの（意見16件）

御意見の要旨	御意見に対する考え方
<p>080) 市民を巻き込もうという計画の趣旨が伝わりました。</p> <p>081) 地域を良くしようと、市民の意欲が高まっていることは、すごいことだと感じました。</p> <p>082) 多様な主体の力を積極的に取り入れ、市街地の緑の量と質の向上と、持続可能なみどりづくりを進めてほしいです。</p> <p>083) 花や野菜を皆で育てることで、地域の会話が増えたり、コミュニティづくりにもなります。</p> <p>084) 住民一人ひとりがみどりづくりに参加できる仕組みが盛り込まれている点も印象的でした。</p> <p>085) 地域での緑化活動や維持管理への参画により、緑を地域全体で育み守る意識の醸成につながると感じました。</p> <p>086) みどりのネットワークづくりや市民参加の取組を具体的に方法や課題に合わせ是非とも進めてほしいと思います。</p> <p>087) 具体的な実践事例の蓄積とともに、府民と協働した取組がさらに広がることを期待しています。</p> <p>088) 園芸療法や地域で活動する個人についても記載があると嬉しいです。</p> <p>089) これまで当たり前のように享受していたみどりの魅力に気づき、守っていくべきだと感じ、私もアクションに取り組み、次世代に引き継ぐことに協力したいと思いました。</p> <p>090) 多様な主体が関わるパートナーシップを強化することで、自分事として「みどり」を捉え、愛着を持つと確信しています。</p> <p>091) 計画に基づき、すべてを行政で行うのではなく、市民・事業者と協働して進めてほしいです。</p>	<p>本計画の理念を実現するためには、京都に関わるすべてのみなさまの御理解と御協力が欠かせません。</p> <p>第4章「一人ひとりにできること」(P57)に記載のとおり、まずはみどりを身近に感じるところから、ふれあう、守り育てることへと、少しずつみどりとの関わりを一緒に広げていきたいと考えています。</p>
<p>092) 市民などからボランティアを募り、みどりの魅力をプレゼンするシンポジウムを企画してほしいです。</p> <p>093) 周辺住民がボランティアでみどりを支え、持続可能な仕組みを維持できたらよいと感じています。</p> <p>094) 落ち葉掃除などの美しい町並みを守る市民の努力に対するケアも一緒に考えてほしいです。</p>	<p>本市においては、公園の除草・清掃にご協力いただく「公園愛護協力会」や、街路樹とその周辺部分の美化や緑化に取り組んでいただく「街路樹サポーター」等のボランティア団体、また公園等の近隣住民の皆様のご理解の下、日常の維持管理に御協力いただいております。</p> <p>ボランティアのみなさまに対しては、これまでから清掃用具の提供等の支援を行っていますが、継続して取り組んでいただきやすいものとなるよう、活動への支援について引き続き検討していきます。</p>

<p>095) 具体的な施策や指標、他団体との関わり方などがわからず、曖昧な計画という印象を受けました。</p>	<p>本計画においては、具体的な指標を設けず、レーダーチャートによるモニタリングの手法を採用することとし、レーダーチャートの形状が社会的期待に応じた良好なバランスとなることを目指すとともに、可能な限り最大化することにより、理念の実現を目指します。</p> <p>また、他団体との関わりのかきかけづくりとして、一人ひとりにできることの具体例として、第7章に「おすすめACTION」(P81～)を掲載しています。また、本市では、みどりに関するボランティア組織(公園愛護協力会、街路樹サポーター等)を設けています。</p>
--	--

計画全体に対する御意見

④ みどりの「多機能性」に関連するもの(意見14件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
<p>096) 空気をきれいにする大切な存在である「みどり」を増やし、人が集まる住み良い街にしてほしいです。</p> <p>097) 「みどりの質の向上」を掲げ、希少な動植物の保護や森林の適正な管理を進める方針を支持します。</p> <p>098) 伝統文化や祭事と密接に関わる緑の保全を計画に盛り込むことは非常に重要だと考えます。</p> <p>099) 文化庁の移転を踏まえ、「みどり」と「文化」の融合について多角的な視点があればよいと思いました。</p> <p>100) 公園等を防災インフラとして位置づけていることに賛同し、熱中症や都市型水害の対策に期待します。</p> <p>101) 雨庭などのグリーンインフラによる、防災や環境負荷軽減といった多面的な効果を目指す点は非常に優れていると考えます。</p> <p>102) 世代を超えて憩える場とするため、身近な公園にも緑を増やしてほしいです。</p> <p>103) みどりは癒しと安らぎを与えてくれる大切な存在です。</p> <p>104) 健康増強やコミュニティ形成など、市民にとっての緑の効果や大切さの訴えが弱いように思いました。</p> <p>105) 子どもが緑豊かな自然の中で安心して遊べる空間を増やしてほしいです。</p> <p>106) 市街地で気軽に緑と親しめる場所や、子どもを安心して遊ばせられる場所が少ないので、他県並みに増やしてほしいです。</p> <p>107) 温暖化対策としての緑化計画について、必要性や効果等をわかりやすく説明・周知してほしいです。</p> <p>108) 市街化調整区域を市街化調和区域とし、野生動物や観光客とも共存し、みどりの多様な価値を新たに見出す計画を望みます。</p> <p>109) 緑が市民の役に立つことを示した上で、受け継がれてきた緑の景色の継承の大切さを訴えることが必要と思います。</p>	<p>みどりには、まちや暮らしに対し、「大気・水質」の保全、「生物生息空間」「歴史や文化の拠り所」等の様々なはたらきがあり、本計画においては、これらの「みどりのはたらき」(P67)を反映しています。</p> <p>いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>

計画全体に対する御意見

⑤ 「京都の特性」に関連するもの(意見12件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
<p>110) 京都には他都市と比べてみどりが多く、また魅力的であることがわかりました。</p> <p>111) 市内に緑が多いことを、市民や観光客が気づいていないと思います。</p> <p>112) 政令市でありながら多くのみどりがある現状は素晴らしいと思います。</p> <p>113) 難しそうなところは飛ばしてしまったが、京都は観光地に良い場所が多く、オーラが違うと感じています。</p> <p>114) 京都をみどりの視点で見るとなったと思います。</p> <p>115) 厳しい予算状況の中でも、京都らしい緑政策を推進してほしいです。</p> <p>116) はんなり剪定や雨庭が、京都ならではのであることを初めて知りました。</p> <p>117) 京都のまちの魅力は、日常に自然が息づいていることで、糺の森のような風景がたくさんあり、日々の暮らしの中で心を整えてくれる存在だと感じます。</p> <p>118) 身近に自然があり子どもが触れ合い、学び、遊べる環境である点は長く受け継いでいきたいです。</p>	<p>本市では、これまでから山紫水明とうたわれる豊かで多様なみどりが守られてきたと考えています。また、長い歴史の中で、地域力や庭園文化、造園文化が育まれてきたことも本市の特性であると考えており、これらは、「計画の背景とポイント」(P61)において「京都の特性」として挙げています。</p> <p>今後の施策の検討・展開においては、京都の特性を踏まえ、取組を進めます。</p>

<p>119) 京都には計画にあるような多様なみどりが溢れていると感じています。</p> <p>120) 現状のみどりも多いことをもっとアピールすべきだと思います。</p>	<p>京都に関わるみなさまに京都の豊かで多様なみどりを改めて発信することは、本計画で重点的に取り組んでいます。今後もホームページ等でのより一層の情報発信に努めます。</p>
<p>121) 他都市に通用できる内容が多く、京都独自の特徴の掘り下げがやや不足しているように感じます。</p>	<p>本計画では、「計画の背景とポイント」(P61)に記載のとおり、京都の特性をポイントの一つとし、計画全体に反映しました。</p> <p>今後の施策の検討・展開においては、京都の特性を踏まえ、取組を進めます。</p>

第1章「理念」に対する御意見
(意見4件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
<p>122) 三山や水辺の景観を千年先へ引き継ぐという理念に賛同します。</p> <p>123) 環境・景観・防災を統合した本計画は、歴史ある特性を生かす都市づくりの指針として大変有意義だと感じました。</p> <p>124) 自然と都市が共存する京都らしい景観を将来にわたり継承しようとする姿勢は、高く評価できる取組であると思います。</p> <p>125) 「理念」のキャッチコピーがとても良かったです。</p>	<p>本計画の理念は、「山紫水明に息づく文化とともに 彩りあふれる千年先の京都へ」です。「山紫水明に息づく文化」という言葉は、京都ならではの豊かなみどりと、それらを基盤として紡がれた人の営みを表しています。「彩り」という言葉は、みどりの美しさや魅力のことであり、「千年先の京都へ」という言葉には、京都の悠久の歴史を、これからも継承・創造していくという思いを込めています。</p>

第2章「みどりの魅力」に対する御意見
(意見29件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
<p>126) 市内のみどりの魅力が分かりやすく表現されており、良かったです。</p> <p>127) ビジュアルのみどりの良さが示されており、理念実現に向けた機運醸成につながると思います。</p> <p>128) 緑の魅力について、視覚的にイメージできるように作られていると思いました。</p> <p>129) 第2章の美しいみどりが印象的で、計画の内容を読み進めたくなりました。</p> <p>130) 前半の章で書いているような、市民の視点や現場レベルの思想は変わらないと思います。</p> <p>131) 好きな歴史的建造物とみどりがセットであることに気づきました。</p> <p>132) 非常に綺麗な計画書で見やすく、第2章は写真に添えられている文章も丁寧で分かり易く良かったです。</p> <p>133) 計画を通じて「緑」の定義の広さを知り、市内の多様な「緑」に気づかされました。</p> <p>134) 市内の多様なみどりにつながっていることを再認識しました。</p> <p>135) 京都ならではの要素を含んだ24のカテゴリ分けが、分かりやすく良いと思いました。</p> <p>136) 様々な緑があることがよくわかりました。</p> <p>137) 第2章「みどりの魅力」において、みどりには多様なカテゴリがあることを再認識できて、とても良いと思いました。</p>	<p>第2章「みどりの魅力」(P6～)では、みどりを「山」、「丘」、「竹林」等の24のカテゴリに分け、京都の豊かで多様なみどりの魅力を、写真等でわかりやすく伝えていきます。</p> <p>また、巻末には「写真マップ」(P101)として、魅力的な写真の撮影場所をマップに表示しましたので、御活用ください。</p>
<p>138) みどりの分類で、自然のみどり、営みのみどりなどでは、一部の事例が複数に該当するため、完全に共感できたとはいえません。</p>	<p>みどりの分類については、いただいた御意見のとおり、厳密には重複する部分があります。一方、本計画ではみどりのカテゴリが24と多数に及ぶため、みどりの多様さや豊かさの全体像を分かりやすくお伝えるために、主な分類として定義しています。</p>
<p>139) P66にある対象のみどりの列記を、第2章の冒頭で紹介してから各シーンへ繋げる方が、みどりの全体像の理解や、第7章に繋がりがりやすいと感じました。</p>	<p>★ いただいた御意見を踏まえ、全体像を理解しやすいよう、「みどりの魅力」(P6)に「対象とするみどり」(P66)の記載内容を追記します。</p>
<p>140) 計画の冒頭(第1～2章)では、国内や世界の他の古都と比較されることを意識し、特色を出した方がより堅実な計画になると思います。</p> <p>141) 京都の気候、地形、変遷、歴史や美学などが、京都のみどりに与えた影響等をもっと追究してみてもいいですか。</p>	<p>本計画の第1章「理念」や、第2章「みどりの魅力」については、より多くの方に向けて継続して発信していく必要があると考えており、いただいた御意見は参考にさせていただきます。</p>

142) ビジュアル面を重視した計画ではないです。	本計画には、「京都の美しいみどりを愛するみなさまとともに、みどりの魅力や展望を共有して未来に向かう」、つまりは、市民や事業者、更には京都に関わるすべてのみなさまと、京都の魅力的なみどり等を共有して、協力しながら一緒に理念の実現に取り組んでいく計画にしたいとの思いを込めています。 より多くみなさまに興味や理解、共感を持っていただき、みなさまとともに取組を進めます。
143) 地元の小学校では宇治川のつばめのねぐらを見学に行くので、是非もっとアピールしていただいて多くの小学生に見てもらいたいです。	宇治川の草地は市内で随一の規模を誇る貴重な草地であるため、その魅力について「草地」(P10)や、「おすすめACTION」(P83)に掲載しています。引き続き、魅力の発信に取り組めます。
144) 雨庭を初めて知り、環境を考えた施策がもっと広がると良いと思いました。 145) 京都の雨庭は他都市にない素晴らしい取組と思います。 146) みどりの定義が多様で、雨庭など治水や灌水にも視野を広げていることはとても良いと思いました。	本市では、平成29年度以降、雨水流出抑制の機能に加え、京都の庭園文化や造園力を活かした日本庭園風の雨庭づくりに取り組んでいます。 今後とも、雨庭をはじめとするグリーンインフラの展開に取り組めます。
147) 雨庭は市民が参加できる関わりしろが少ないように思います。	「おすすめACTION 雨庭」(P86)に記載のとおり、自宅や職場に雨庭を作るほか、市内各所にある雨庭を見ていただくことも十分な関わりであると考えています。
148) 大学の緑あふれる空間は、運動だけでなく地域の散歩や癒やしのスポットにもなっているため、その写真も入れてほしいです。 149) 社寺林について、子どもの遊び場として身近なオープンスペースで、その賑わいの様子がわかる写真を入れてほしいです。	御意見いただいたシーンについても、非常にみどりの魅力が現れるものであると考えます。デジタルブックの特性を生かし、写真等を追加・更新する際には、いただいた御意見を参考とさせていただきます。
150) 文化を継承していくために、寺社の庭園だけでなく、祭事とみどりの関わりの記載が必要ではと思いました。	祭事とみどりの関わりについては、重要であると考えています。そのため、「みどりのはたらき」(P67)の一つに「歴史・文化」を挙げるとともに、「みどりの魅力」の「山」(P7)や「川」(P13)をはじめ、本計画の随所で言及しています。 また、「対象とする区域(参考例)」(P64,65)では、一部ではありますが、祭事の写真も掲載しています。
151) 陵墓の魅力を伝える取組を市として進めていくことはどうかと思います。	本計画では、陵墓の魅力ではなく、陵墓の「みどり」としての魅力を伝えていきます。 陵墓のみどりは、悠久の歴史の中で築かれ、守られてきたもので、京都の歴史の深さを物語るものであると考えています。
152) 建物と一体化した緑化が公共施設や商業施設等に取り入れられたスタイルがとても魅力的だと思いました。	壁面緑化及び屋上緑化に代表される建物の緑化は、空間に限りある中心市街地にみどりを生み出す有効な手立てであるため、その充実に取り組めます。
153) 庭のある京都らしい家の魅力を感じ、増えていけば、京都の魅力向上になってよいと思いました。	庭のある家については、「坪庭」(P21)、「敷地の緑化」(P30)で、その魅力を発信しています。
154) 敷地緑化の項目に温暖化対策の役割等も記載も必要と感じました。	「みどりのはたらき」(P67)に記載のとおり、みどりが果たす二酸化炭素吸収のはたらきは、気候変動問題の対策に貢献すると考えています。そのため、「施策の方向性1」(P76)にもその考えを反映しています。

第3章「みどりの展望」に対する御意見

① 「みどりの展望」全体に関連するもの（意見3件）

御意見の要旨	御意見に対する考え方
155) 第3章は、全方位的に網羅されており、非常に充実した内容であると感じました。 156) ビジュアル的に最高と思います。	第3章は、第2章で示した24に分類したみどりが、まちやくらしの中で、どのように広がり、つながっているのかを「鳥瞰図」や「現況図」を用いて視覚的に示し、京都のみどりの「将来の姿」を、16のテーマの絵画で示しています。本計画の理念の実現に向けて、具体的なイメージを京都に関わるみなさまと共有することを意図しています。
157) P33～P38の題名のレイアウトは、図が表している内容について文字を大きくした方が良いと思います。	第3章における題名のレイアウトは、「鳥瞰図」、「現況図」、「将来の姿」の3つのパターンから構成されていることを強調することを意図しています。

第3章「みどりの展望」に対する御意見

② 鳥瞰図・現況図に関連するもの（意見5件）

御意見の要旨	御意見に対する考え方
158) 鳥瞰図はあまり見たことがないもので印象的でした。鳥瞰図を色々なアングルから見られるといいと思いました。	★ 「鳥瞰図」は、京都のみどりをより多くの視点から俯瞰いただけるよう、別のアングルを追加し、計2図から計8図に充実します。
159) P32「鳥瞰図」は2パターンあるが、「Aerial View」は単数形ではないですか。	★ 御指摘を踏まえ、現況図（City Analyses）、将来の姿（Future Images）と表現を統一するため、複数形（Aerial Views）に修正します。
160) P32「現況図」の英語が「City Analyses」は少し違和感があります。	計画内のすべての英語表記については、改めて確認します。
161) 植物の生息状況がわかる現況図があれば、子どもに見せることもできるので、現況図は実際に欲しいです。	現在本市が管理する街路樹等の現況図は、本市ホームページに掲載していますが、いただいた御意見は参考とさせていただきます。
162) 現況図は凡例ごとに見分けやすいように色を工夫した方が良いと思います。	現況図の凡例ごとの色使いについては、多色を用いると見分けやすくなる一方で、事務的な資料のような印象となると考え、みどりの豊かさや大切さを表現することに重点を置いた色使いにしています。

第3章「みどりの展望」に対する御意見

③ 将来の姿に関連するもの（意見37件）

御意見の要旨	御意見に対する考え方
163) 理想像がとてもすてきだと感じました。これを実現していく、多くの人が「みどり」の必要性を感じてくれる社会になれば良いと思いました。	「将来の姿」（P39～）の絵画は、テーマに沿って、京都市立芸術大学出身の7名の作家に制作を依頼したものであり、親しみと魅力の詰まった京都らしい作品です。 将来の姿の具体的なイメージを、京都に関わるみなさまと共有し、理念の実現に向け、取組を進めます。
164) 将来にはイラストの様な場所がたくさんできるといいなと思いました。	
165) 作家さんが描く16テーマの将来の姿において、描かれてる人々の笑顔が印象的です。	
166) 「将来の姿」の子どもたちが、みどりの中で楽しく遊んでいる絵に安心しました。	
167) 環境を大切にしたら暮らしがあると感じ、都市計画外も見てみたいと思いました。	
168) 将来像を、京都市立芸大出身の方に記載いただいたアイデアが素晴らしいです。	
169) 地元の芸術大学出身の画家さんの協力を得ながら将来の姿が描かれており、計画策定段階からのパートナーシップによる取組が感じられ、とても素敵だと思いました。	
170) 第3章のイラストは、イメージが伝わってきて素敵な表現方法だと思いました。	
171) 第3章「将来の姿」で、今後の具体的なイメージを「絵画」で示すのは、斬新でわかりやすい表現方法だと思いました。	
172) 「将来の姿」テーマ7のデジタルイラストが良いと思いました。京都に住んでいる1人として自然と人々を繋ぐきっかけになると思いました。	

<p>173) 第3章は第2章とは対照的な絵やイラストで親しみやすく、イメージがとてよく伝わってきました。</p> <p>174) みどりの展望で描かれている作家の作品などは、とても興味深いものでした。</p> <p>175) どのイラストもあたたかい雰囲気がいいなと思いました。</p> <p>176) 芸術家の方が描かれた絵は、どれも柔らかい雰囲気ですごく好きでした。</p> <p>177) 「将来の姿」の作品は、いずれも温かみがあり、大変すばらしい内容であると感じています。</p> <p>178) 画家に将来像を描かせる発想が面白く、色々なタッチの作品があり受け手の感性に委ねられる将来像の示し方が良いです。</p> <p>179) 第3章では、芸術家の作品を通じて、視覚的にイメージを伝えることで、より感覚的な緑の将来像を示すことができていると思います。</p> <p>180) 第3章「将来の姿」について、様々な方の作品を掲載しイメージを深める取組は新鮮で面白いと思いました。</p> <p>181) みどりの展望のイラストの雰囲気がよく、暮らしの中のみどりの姿をイメージできました。</p> <p>182) 「将来の姿」テーマ16の「京都が誇る造園力」については、自然のままに任せるのではなく、人の手を加えることで、より一層美しいものにしていくという気持ちが入っているようで、良かったです。</p> <p>183) 「将来の姿」テーマ15のコンセプトは極めて優れており、多くの市民が緑に親しみ、価値を実感できる機会が広がることを期待します。</p>	
<p>184) 「将来の姿」の16テーマを作家が描くきっかけや議論があれば、計画に記載してもよいと思います。</p>	<p>京都市都市緑化審議会において、委員からイラストや写真における大学等との連携について提案がありました。</p> <p>議論の過程は、京都市都市緑化審議会及び京都市緑の基本計画検討部会の資料や議事録として公表しています。</p>
<p>185) 「将来の姿」はより伝わりやすいように工夫してほしいです。</p> <p>186) 将来像を示すアート作品について、意図が分かりづらいです。</p>	<p>「将来の姿」(P39～)については、絵画に込めた意図が伝わるように、テーマと説明文を付しています。また、巻末には、「作品に込めた思い」(P98)について、作家へのインタビューをもとに掲載していますので、併せてご覧ください。</p>
<p>187) 第3章「将来の姿」について、第6章や第7章にどうつながっているのかが分かりにくいと思います。理想を示すことは非常に重要ですが、行政計画である以上、取組の実効性や実現性を市民が実感できる内容とすることも必要だと思います。</p> <p>188) 「将来の姿」を推進していくための具体的な中身を、明確に把握することが難しいです。</p>	<p>本計画は、「計画の体系」(P74)に記載の図のとおり、理念を最上位とし、方針、施策の方向性等と、いくつかの階層が紐づいた内容となっています。</p>
<p>189) 将来像の提示が特定の作家の作品集のようにならないよう配慮すべきだと思います。</p> <p>190) 作家が想像するイメージが、市民に提示する市の将来像として相応しいのか疑問です。</p> <p>191) 全体的に色調がやや暗く、歴史の深さや落ち着きを超えて、暗い印象が強く残る面もあり、将来の姿の市民との共有の上では、もう少し明るく前向きな表現も良いかと考えます。</p> <p>192) テーマ9、10のイラストは、明るい将来を感じることができる色合いを希望します。</p> <p>193) P45の「将来の姿」における街路樹の位置がおかしいと思いました。</p> <p>194) 「将来の姿」テーマ16の描写は、京都の伝統を感じさせる装いや道具を描写するとよりよく見えるのではないかと思います。</p> <p>195) テーマ16など、「将来の姿」のテーマについてよく知っている人が描いたとは思えません。</p> <p>196) 「将来の姿」の一部の作品について、外国人観光客の表現が反感を呼ばないか、市の観光政策との一致を確認した方がよいと考えます。</p>	<p>「将来の姿」については、本市から作家に、各テーマに関するイメージを参考資料として提示し、適宜両者で打合せを行い、絵画を仕上げました。</p> <p>また、京都市都市緑化審議会、京都市緑の基本計画検討部会及び関係部局において、作品の方向性等を確認し制作を進めました。</p>
<p>197) 絵のタッチに統一感がある理由を教えてください。</p>	<p>絵画の制作に当たって、作家の創意や個性を尊重するため、絵のタッチはお任せしています。</p>
<p>198) 将来的な計画に関する平面図などが無いのが気になります。</p>	<p>将来的なみどりに関連する平面図については、「みどりの配置方針」(P68)に示しています。</p>

199) 将来の緑を守るための地域性遺伝子と生態系保全の視点の反映に向けての記載も検討してほしいです。	御意見にある学術的な視点については、「視点4 生物多様性」(P70)に記載しています。「将来の姿」については、親しみと魅力を感じていただく意図で、テーマに関する説明文はできるだけ端的で分かりやすい内容にしています。
---	---

第4章「一人ひとりにできること」に対する御意見
(意見6件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
200) あらゆるみどりを紹介し、一人ひとりにできることを独立した章で押し出したのは、かなりメッセージ性がありよかったです。 201) 第4章「一人ひとりにできること」は、みどりを自分事として考えることができ、計画が身近に感じられてとてもいいと思いました。 202) 毎日のように目にしている風景を1つ1つに目を向けて見る事で、また違う目線で楽しみながら見れる様に思います。 203) 暮らしの中で、ふれあいや緑を感じてみようと思うきっかけとなりました。 204) 第4章で、市外の人も含めた多様な主体に向けたメッセージが発信されており、好感がもてました。 205) 市民がみどりを守り、育てることを意識して行動できるよう、「一人ひとりにできること」を学校や地域での啓発するなど、しっかりと行ってほしいです。	第4章「一人ひとりにできること」(P57)の内容については、京都に関わるみなさまに対して、この計画を自分ごととして捉えていただき、協力しながら取組を進めていくとのメッセージを込めています。いただいた御意見を参考のうえ、みどりと関わりが広まるよう取り組みます。

第5章「計画の概要」に対する御意見
(意見50件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
206) 計画期間をこれまでの15年から10年にしたことが気になりました。	社会情勢の変化や市民ニーズに柔軟かつ的確に対応するため、緑の基本計画検討部会において、15年よりも10年が妥当と判断しました。
207) みどりに関する課題点についても明確に記載してもらいたいです。 208) 魅力的に感じた分、この計画からは京都市の課題がわかりませんでした。	課題については、「計画の背景とポイント」(P61)に記載のポイント1~4のとおりであり、本計画ではこれらのポイントを踏まえ策定しました。
209) 京都のみどりの特性について、地域力や造園力の項目を更に充実させるとともに、ほかにもあると思います。	★ 「計画の背景とポイント」(P61)の図について、いただいた御意見を踏まえ、「地域力」については「市民や企業、大学等、京都のみどりに関わる人々の知恵と行動がある」旨、「造園力」については「千年の知恵と技を受け継ぐ、卓越した造園力がある」旨を追記します。
210) 量より質は良いと思いますが、量があってこそその「質」論ではないかと思います。	人口減少社会にあることや京都の成熟した土地利用を背景に、今後も緑被率の維持・向上に取り組むとともに、みどりの質の充実により重点を置いた取組を進めます。
211) Well-beingは、国の主要な方向性の1つであるため、公園等の位置付けを明確にしてほしいです。	Well-beingについては、公園のみならずあらゆるみどりが貢献するものと考えています。その中でも、身近なみどりである公園については、特に関わりが強いものであるため、「公園」(P85)においては多様な取組を示し、Well-beingへの貢献を図っています。
212) よくまとめられていると思います。京都基本構想も自然の大切さについて述べられているので、少し触れてはどうですか。	★ 京都基本構想(令和7年12月策定)については、「他計画等との連携」(P62)に記載しており、「自然」に関する内容が含まれている旨を強調するため、図中の「京都基本構想」欄に「自然への畏敬と感謝の念を抱けるまち」を含む3つの「わたしたち京都市民がめざすまち」について追記します。

<p>213) 市役所が掲げる計画が多いので、水や生物多様性など関連分野の計画をまとめてほしいです。</p> <p>214) 市役所を縦断し、みどり政策が主導権を握るほどの勢いがなく、みどりを軽く扱っているように感じます。</p>	<p>「他計画等との連携」(P62)に記載のとおり、本計画に関連する分野別計画等は複数あります。これらの一本化については、分野別計画等の大半が、それぞれ別の法律に基づいて策定している計画(いわゆる法定計画)であり、法的な事情から一本化が難しいのが現状です。</p> <p>一方、各計画間の連携を強化し、縦断的な取組を展開することは重要なことであるため、各計画を所管する部署との対話や情報交換を行い本計画を作成した他、第7章において記載事項がどの分野別計画の所管かをリンク付きで示すなど、分かりやすさにも可能な限り配慮しています。</p>
<p>215) 竹林など特徴的な風景が広がる西山大原野地域の写真も掲載してもらいたいです。</p>	<p>西山大原野地域の写真としては、「大原野森林公園」の写真をP85に掲載しています。その他、掲載している主な写真については、「写真マップ」(P101)に一覧と地図をお示ししています。</p>
<p>216) 市街地だけでなく、山間部の緑にも注目して紹介している点が良かったです。</p>	<p>京都市域の面積のうち、市街地は2割足らずで、その他は山間部です。そこには個性あるみどりやくらしがあることを、「対象とする区域(参考例)」(P64-65)で、紹介しています。</p>
<p>217) みどりのカテゴリーの御苑、御所、陵墓についてはどれも庭園とつながっているように感じます。</p> <p>218) 植物園の分類について、「特徴的なみどり」というのに違和感を感じました。育むとか繋がるとか基盤とするなどが浮かびました。</p>	<p>本計画におけるみどりのカテゴリーは、それぞれのみどりの魅力や分かりやすさを考慮して設定したものです。</p>
<p>219) みどりの範囲は広すぎます。その計画は「マジやばい」と感じます。</p>	<p>本計画においては「対象とするみどり」(P66)に記載のとおり、あらゆるみどりを対象とし、非常に多岐にわたります。また、これが法律の規定に基づくものである旨を本文に記載しています。</p>
<p>220) 現代では緑は減少していますが、緑には様々なはたらきがあり驚きました。</p>	<p>「みどりのはたらき」(P67)に記載のとおり、緑のはたらきは多岐にわたります。</p>
<p>221) 市街地の開発が進む中でも、住宅と緑がバランス良くあることを願います。</p> <p>222) みどりの配置方針が京都市の構造に合致している点が良かったです。</p> <p>223) みどりの配置方針のイラストがかわいく分かりやすいです。</p> <p>224) 「みどりのネットワーク」の要素のイラストが素敵でした。</p>	<p>「みどりの配置方針」(P68~)に記載のとおり、今後とも「無秩序に配置するのではなく、社会のニーズや地域の特性に合わせて、ふさわしい場所にふさわしいみどりを配置する」ことに取り組みます。</p>
<p>225) 緑被率をどのように維持・向上させていくのか気になりました。</p> <p>226) 「輪のみどり」において、保全を継続しつつ、みどりの質の充実に取り組むことの具体的な案を詳しく知りたいです。</p>	<p>緑被率はあらゆるみどりに関わるものであり、その維持・向上に当たっては、第6章「方針・施策の方向性」(P75)に記載のとおり、様々な観点から、みどりの保全・創出に取り組みます。具体的な取組については、第7章「みどりの取組」(P81)のとおりです。</p>
<p>227) 民有地緑化をまた再開してほしいです。</p>	<p>「みどりの配置方針」(P70)に記載のとおり、京都における緑化を進めるためには、民有地緑化の更なる推進が必要です。市街化区域を緑化重点地区に指定していることを踏まえ、積極的な民有地緑化に努めます。</p>
<p>228) 民有地緑地の写真で、民有地のみどりが道路に越境しているのが気になりました。</p>	<p>民地から道路への越境枝については、一般交通に与える影響、周辺環境との調和等、様々な状況を総合的に勘案して対応を検討します。</p>
<p>229) 公園について、社会状況に応じた検討の方向性が示されており、子育て世代として共感できる方針です。</p> <p>230) 小さな公園を多数整備するより、機能を集約した大きな公園を整備してほしいです。</p> <p>231) 人口減少社会等の到来を踏まえ、公園の量の確保にこだわらず、市民が利用しやすい機能の再編を優先すべきと思います。</p> <p>232) 公園のリニューアルに注力する考えですか。</p>	<p>「みどりの配置方針」の「視点6 公園」(P70)に記載のとおり、公園面積の確保に長期的に粘り強く取り組む一方で、老朽化対策等を通じて、公園の魅力向上に取り組めます。</p>
<p>233) 緑化重点地区での緑化義務や、特別緑地保全地区等の指定の取組は良いと思いました。</p>	<p>今後も緑化重点地区を中心に、グリーンインフラや生物多様性等に資する緑化の推進に重点的に取り組みます。</p>

<p>234) 緑化重点地区が市街化区域全域というのは乱暴な印象もありますが、議論の経過を含め、必要に応じて計画に記載してほしいです。</p> <p>235) 計画による変化やモニタリングの結果に興味湧いたので、アクセスしやすい形で公表してほしいと思いました。</p> <p>236) モニタリング方法が工夫されていると感じました。</p>	<p>★ 現計画（平成22年策定）において緑化重点地区を市街化区域全域としており、本計画においてはその考えを踏襲することを緑の基本計画検討部会で確認しました。 緑化重点地区については、本市ホームページのリンクを本文に追加します。</p>
<p>237) 10年間の目標や具体的施策が不明確なため、議論の内容も含め、必要に応じて計画に記載してほしいです。</p> <p>238) 炭素中立や自然再興、循環経済に対して、緑行政としてどこまでやるのかが見えません。</p> <p>239) 総合的、具体的な目標が見えません。</p> <p>240) 京都のみどりと共生する生物の変化をモニタリングし、環境の変化を把握していくことが必要と思います。</p>	<p>「モニタリング・目標」（P72）に記載のとおり、本計画では、方針や施策の方向性に基づき、様々な取組を、京都に関わる方々や行政が連携して実施することで、理念の実現を目指します。その他、いただいた具体的な御意見は、本計画のモニタリングに当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>241) アンケートによるモニタリングについては丁寧な評価手法だが、作為的な操作を疑われかねないやり方はいかがと考えます。</p> <p>242) 市民アンケートや庁内ヒアリングの内容について、回答者の主観が入ってしまい、回答にバラツキが生じると考えます。</p> <p>243) 目標値を設定すべきであり、アンケート調査は属性により回答が変わるため信頼性が薄いです。</p>	<p>今後のモニタリングの内容や結果は、有識者会議（京都市都市緑化審議会）での審議を経て、公開する予定です。その他、いただいた具体的な御意見は、本計画のモニタリングに当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>244) 現代的課題の解決に向けたKPIの選定とその達成目標の検討がないため、全体として単に方向性を論じているに過ぎません。</p> <p>245) 「防災、景観、生物多様性」のみどりの多機能性を重視するならば、それぞれブレークダウンした政策とKPIの設定を検討しないとイケないと考えます。</p> <p>246) 都市のレジリエンスと経済性を高める新たな指標・制度に、京都が先陣を切って取り組むことを提案します（具体的な指標：実質浸透率、市民緑地認定制度、生物多様性クレジット）。</p> <p>247) 法改正や国際的な指標や動向を反映し、実効性を担保するため適切な施策とKPIを明記すべきです。</p> <p>248) 民間緑地の質を評価するため、「創造」タイプも積極的に含め、自然共生サイトの認定を支援し、具体的な目標件数を設定すべきです。</p> <p>249) 法改正に基づき、民間主体の緑化事業と維持管理を促進する仕組みを盛り込み、また雨庭などを「TSUNAG認証」制度に組み込み、件数を指標化すべきです。</p>	<p>みどりを取り巻く社会的状況は刻々と変化していることから、固定的な数値目標は設定せず、モニタリング結果のレーダーチャートの形状が社会的期待に応じた良好なバランスとなり、可能な限り最大化することを目指します。その他、いただいた具体的な御意見は、本計画のモニタリングに当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>250) 数値目標を掲げればどうしてもそれに引きずられざるを得ないですが、そんなことに労力を費やすのはナンセンス。数値目標を掲げない理由を計画に明記しても良いのではないかと思います。</p> <p>251) 案にある丁寧な評価手法に併せて、主要な数値目標も若干数定めて、総合評価する方法を検討してはどうですか。</p> <p>252) 社会情勢の変化は予測が難しいものの、だからこそ中長期的な数値目標が必要と考えます。主観的評価の基準や主観的評価の集計の正確性を確認するための目標数値の明示が必要と考えます。</p>	<p>数値目標を掲げない議論の過程は、京都市都市緑化審議会及び京都市緑の基本計画検討部会の資料や議事録にて公表しています。</p>
<p>253) 緑被率の目標はないのですか。</p> <p>254) 公園数（面積）の目標はないのですか。</p> <p>255) 計画の実効性を高めるため、雨水循環などの各種認定制度を整備し具体的な肉付けを行うことが重要です。</p>	<p>「みどりの配置方針」の「視点2 みどりの量と質」（P69）に記載のとおり、「緑被率の維持・向上に取り組む」こととしています。</p>

第6章「方針・施策の方向性」に対する御意見
(意見6件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
<p>256) 計画の内容を分かりやすく表記してほしいです。</p>	<p>本計画は、「計画の体系」（P74）に記載の図のとおり、理念を最上位とし、方針、施策の方向性等と、いくつかの階層が紐づいた内容となっています。</p>
<p>257) 計画の体系で緑の展望のテーマ1～16は何を指しているのかわからなかったです。</p>	<p>★ 「計画の体系」（P74）において、テーマ1～16は、「将来の姿」のテーマと「方針」や「施策の方向性」との関連を示しています。また、御意見を踏まえ、計画の体系がより分かりやすくなるように図中に写真等を追加します。</p>
<p>258) 限られた資源や体制の中、実効性の高い計画となるよう、施策の優先順位やメリハリをつけた政策展開を示してはどうかと考えます。</p>	<p>施策の優先順位等のいただいた御意見は、重要な視点と考えています。そのため、多角的かつ総合的なモニタリング（P72, P95）を行うことにより、社会的期待に対し柔軟かつ的確に応える政策展開に努めます。</p>

259) 方針1及び方針2は非常に評価できる内容であると感じました。今後、計画と親和性が高いと感じられる武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園と連携を検討されてはいかがでしょうか。	計画において環境及び生物の視点は重要であると考えています。御提案いただいた「京都薬用植物園様」とは、視察や情報交換等を通じて連携（P97）を既に行っています。今後も、同園含め、多様な主体との連携に取り組みます。
260) 「施策の方向性1、2」について、「守り育てる」とありますが、民間企業や民地での展開を促せるよう「創出」「生み出す」といった視点も含めた表現にはいかがですか。	いただいた御意見のとおり、みどりを「守る」だけでなく、民地等での「創出」の視点も重要であると考えています。この点については、「みどりの配置方針」（P70）にも、民有地緑化による質の高いみどりの創出について記載しています。御意見いただいた「施策の方向性」については、「守り育てる」という表現に、創出するという意味合いも込めています。
261) 「庭園文化都市」の実現、継続を期待します。	本計画の理念を実現するため、方針Ⅲに「みどりとひとの輪を広げ後世に庭園文化都市をつなぐ」（P80）を掲げています。今後も、京都の特性を踏まえ、地域力の発揮と造園力の活用を通じて、庭園文化都市の実現に取り組みます。

第7章「みどりの取組」に対する御意見
(意見120件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
262) 第2章の「みどりの魅力」に対し、第7章の「みどりの取組」へと整理されており、わかりやすいです。 263) 第7章「みどりの取組」は、多様ないのちとの繋がり方が具体的に盛り込まれていてわかりやすいと思いました。 264) おすすめアクションの記載が魅力的で面白く、リンクにより京都市の取組紹介がされているのも良いです。 265) 行政の取組と合わせて「おすすめアクション」が示されていることがわかりやすいと感じました。 266) 第7章に個人でできる取組も書かれており、計画を身近に感じることができました。 267) 一人ひとりにできることやおすすめアクションがまとめられているのも、わかりやすくて良いと思いました。 268) 気軽に始められるおすすめアクションの項目があるのは非常に良かったと思います。 269) おすすめACTIONの「鳴く虫の声に耳を澄ます」に感銘を受けました。 270) 第7章「みどりの取組」で、一人ひとりにできることの具体例も示しているのは、とても良いと感じました。 271) みどりの取組のおすすめACTIONがわかりやすいです。	第7章「みどりの取組」については、第2章「みどりの魅力」で分けた、24のカテゴリごとに、取りまとめることで、分かりやすい構成となるよう工夫しています。また、要点を絞った端的な記載にすることで読みやすさにも配慮しつつ、関連するホームページのリンクをできるだけ多く貼付することで、取組をより詳しく知りたい方向けの参考情報も充実させています。
272) おすすめACTIONをもっと充実することで、みんなに興味を持たせられると思います。 273) おすすめアクションをガイドブックみたいにマップに落とし込んだものがあればありがたいです。	おすすめACTIONは、一人ひとりにできることの具体例を示しています。いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
274) おすすめACTIONのアンダーラインの意味を示してほしいです。	アンダーラインは、参考URLを添付していることを示しています。アンダーライン箇所をデジタルブック上でクリックすると関連するホームページを参照できます。
275) みどりの取組は、市が行う規制だけではないと思います。 276) 山、丘、竹林の取組について、保全だけでなく、市民とともにどう取り組むのか具体的に示してほしいです。 277) 今後、緑を新たにどう創っていくのかという視点が欠如しています。「今あるものを、現行制度で、今まで通り守る」では通用しない時代ではないと思います。 278) 疏水や川辺等の緑を民間と連携し創り活用していく具体的なアクションプランを示した方がよいと思います。	いただいた御意見のとおり、みどりの取組は多種多様です。そのため、第7章「みどりの取組」では、本市が行う取組の他、一人ひとりにできることの具体例として「おすすめACTION」を併せて示しています。
279) 近郊緑地保全区域、特別緑地保全地区に対する京都市の考え方や保全の取組を明らかにしてほしいです。 280) 近郊緑地保全区域、特別緑地保全地区では、保全・管理とともに、みどりを楽しむ取組を行うべきだと思いました。	当該区域等における本市の考え方等については、「京都市景観計画」に示していますので御参照ください。
281) 雙ヶ岡の自然を守るため、関係部署と連携した環境保全や倒木対策を進めてほしいです。	雙ヶ岡は大切に守り続けられてきたみどりであり、「丘」（P82）に記載のとおり、その保存に取り組んでいます。いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。

<p>282) 病害虫の影響を受けている竹林の保全に努めてほしいです。</p> <p>283) 竹林への加害行為を防ぐため、法的な規制等による保全は良いと思いました。</p> <p>284) 竹林の保全を所有者任せにせず、市としての方針を示すべきだと思います。</p> <p>285) 放置竹林の手入れを行い災害対策や生態系を維持するとともに、竹を竹製品や建築資材に有効活用できればと思います。</p> <p>286) 西京区の放置竹林問題を解決してほしいです。</p> <p>287) 近年問題となっている竹林への落書き対策を推進していくべきです。</p> <p>288) 嵐山の竹林の小径への落書きや不法侵入を防ぐため、今後來られた方にマナーやモラルを守ってほしいです。</p> <p>289) 森林や農地の適切な管理のため、林道や農道、里道の適切な整備、維持管理が重要です。</p> <p>290) 景観、生物多様性にも寄与する農林業復興にぜひ取り組んでほしいです。</p> <p>291) 「学校給食100%地産地消化」、「市施設建築、備品調達75%市内産木材使用」を加えてほしいです。</p>	<p>竹林は京都を代表する風景の一つで、「竹林」(P82)に記載のとおり、その保全に取り組んでいます。いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>
<p>292) 日当たりのよい斜面を活かした果樹栽培を増やし、食の地産地消や食料自給率の向上になればと思います。</p> <p>293) 大原の赤じそ畑や上賀茂のすぐき畑の見学をグリーンツーリズムの一環とし、生産者の思いや京漬物への愛着を知る機会を設けてほしいです。</p> <p>294) 上五反田の辺りの田園風景の中に物流倉庫が建つので、倉庫建物の周囲の緑化に力を入れて欲しいです。</p>	<p>林業地及び農地は営みや生業につながるみどりであり、「林業地／農地」(P83)に記載のとおり、その保全・活用に取り組んでいます。いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>
<p>295) 高野川と岩倉川の合流地点付近では、災害を防ぐための流木撤去と、生物生息について、自然環境を見ながら様子を見ていきたいものです。</p> <p>296) 保津川下りでは、季節に応じて色々な楽しみ方や、山の景色の変化を見る事ができます。</p> <p>297) 山科川は、川沿いのサクラと菜の花が織りなす、美しい景色を楽しむ事ができる場所です。</p> <p>298) 高野橋付近の工事で植え替えられたサクラの若木は、枝折れやクビアカツヤカミキリの見守りが必要です。</p> <p>299) 向島の広大な水田が育む生き物や生物多様性を守り、今後の自然環境の変化を見てみたいです。</p> <p>300) 松ヶ崎浄水場から西に向かって流れる疏水分線では、四季折々の花が季節に合わせて咲き、散策する人々を楽しませてくれます。</p>	<p>川、池、疏水といった水辺のみどりは、御意見いただいたとおり、様々な魅力がある一方で、それを守り育てていくためには、環境や生きものをはじめとする配慮が重要となります。いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>
<p>301) 市民が公園を自分事として捉え、考えていただけるようになればいいと思います。</p> <p>302) 公園愛護協力会に参加し、いつもありがたく公園を利用しており、不具合への迅速な対応など、土木みどり事務所の対応に感謝しています。</p> <p>303) 公園を活用し、学生や企業、住民が連携した地域のつながりづくりの福祉的活動ができないかと思っています。</p>	<p>くらしに身近な公園については、色々な役割を持つみどりであり、「公園」(P85)に記載のとおり、取組を進めます。</p>
<p>304) 公園のみどりの適切な管理に努めてほしいです。</p> <p>305) 公園への期待は多岐にわたるため、みどりを増やすことだけでは、皆の期待に応えられないと思いました。</p> <p>306) 市民のボランティアへの依存は限界の状況であり、みどりを増やすより維持を重視し、時代に合わない大規模公園は縮小や例えば障害者雇用カフェへの用途変更を行うなど、「維持できるみどり」を検討してほしいです。</p> <p>307) 公園愛護協力会で活動しており、高齢者が必死で頑張っている。人口減少で担い手が減る中、市は「みどりを増やす」と言い、維持管理の現実を目を向けてほしいです。</p> <p>308) 公園の遊具やベンチが夏場に熱くならないよう、日影を作る樹木を夏に切らないでほしいです。</p> <p>309) 左京区の辻公園は、紫色や水色など色々な色のアジサイが咲き、公園の中も手入れがされ、きれいです。</p> <p>310) 公園の美化とともに、トイレの洋式化やトイレ壁面の緑化を進めてはどうですか。</p> <p>311) 公園のベンチを、陰になるように整備してほしいです。</p> <p>312) 住宅街の公園では高齢者や幼児が安全に静かに過ごせるよう、ボール遊びの危険や騒音への対策として、花壇の設置や木を植えてボール遊びができないようにしてほしいです。</p> <p>313) ペンキの塗り直しなど、簡単な補修だけでも印象が変わる。公園の適切な維持管理をしっかりと進めてほしいです。</p>	<p>公園のみどりについては、樹木の適切な管理に取り組む他、公園を愛する人々の力や京都の高い造園技術が活かされるよう取り組めます。</p>

<p>314) 滑り台について、夏の熱さや子どもたちの遊び方を考慮した遊具の選定を、専門家による委員会などを設置して行ってほしいです。</p> <p>315) 休憩できる公園整備をしてほしいです。</p> <p>316) 防災拠点として身近な公園に井戸、炊き出しかまど、下水道利用簡易トイレ等を計画的に設置し、防災面での公園の役割の再点検が必要です。</p>	
<p>317) 公園ごとにシンボルツリーを定め、それらを巡るマップを作成してはどうかと思いました。</p> <p>318) 大蛇ヶ池公園において、民間事業者の力を借りたパークPFIに取り組んでほしいです。</p> <p>319) 大蛇ヶ池公園や船岡山公園は、民間活用や大学との連携により、賑わいのある公園にしてほしいです。</p> <p>320) 環境への関心を高めるため、梅小路公園や円山公園で、自然を楽しく体感できる小、中学生対象の探検会を開催すると良いと思いました。</p> <p>321) 伏見港には、多くの方々にお越しいただき、スポーツや散策を楽しみながら、酒蔵見物もしていただきたいです。</p>	<p>公園については、これまでからの地域の方々へ愛着をもっていただき、管理等を行ってきました。また、公園の利活用促進も重要となります。いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>
<p>322) 下京区や南区の再開発の際には、立場が違う方々が、対話の中でどんな街にしたいか構想を考えていただきたいです。</p> <p>323) 市街地の緑の減少を抑えるため、学校跡地などの市有地に樹木を植え緑地公園にしてほしいです。</p>	<p>いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>
<p>324) 街路樹や公園などで伐採要望があるとしても、未来を見据え、緑を豊かにする正しい選択ができるプランにしてほしいです。</p> <p>325) 街路樹を減らし、その分の費用を公園整備や維持に充ててほしいです。</p> <p>326) 街路樹や公園の雑草対策の充実を望みます。</p>	<p>老朽化した公園樹木や街路樹等については、適切な管理が重要となります。いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>
<p>327) みつけ隊アプリを活用し、街路樹や公園のみどりの安全な管理が必要だと思えます。</p>	<p>安全な管理の実現に向けて、引き続きみつけ隊を活用します。</p>
<p>328) 特定外来生物対策、希少植物保全について街路樹や公園等で行えることを明記すべきです。</p>	<p>生物多様性の保全については、街路樹や公園のみどりが貢献しうるものと考えており、「公園」(P85)に記載のとおり、京都本来の生態系や生きものの多様性につながるみどりの保全に取り組みます。</p>
<p>329) 根上りの対応や老木化による街路樹の更新などをしっかり進め、安心安全な管理をしてほしいです。根上りの対応完了までは、安全確保のためカラーコーンなどを設置してほしいです。</p> <p>330) 街路樹が多過ぎる路線は、本数を少なくしてほしいです。</p> <p>331) 千本通の北大路通から北山通まで中央分離帯の街路樹により、通りが暗いため、低木に更新してほしいです。</p> <p>332) 伐採後の植樹帯が放置されないよう、街路樹更新の基本的な考え方を示してほしいです。</p> <p>333) 京都には寺社仏閣、周辺の山々があり、街路樹の維持管理も大変なので、街路樹はいらないと思いました。</p> <p>334) 落枝が目立つ場所があり、街路樹の安全性を高めてほしいです。</p> <p>335) 落ち葉の清掃負担や安全面を考慮し、植樹する樹種の選定を工夫してほしいです。</p> <p>336) 賀茂街道の桜並木が好きですが、桜の枯れ枝等が目立ちます。</p>	<p>安全性や健全性が低下した街路樹については、適切な管理が重要であり、「街路樹」(P86)に記載のとおりです。いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>
<p>337) 街路樹の落ち葉に困っており、剪定を毎年実施するか、管理できる範囲の木にしてほしいです。</p> <p>338) 秋の街路樹の剪定はもう少し緑を残すことは出来ないですか。</p> <p>339) 街路樹の維持管理をボランティア頼りにせず、市民にしっかりとお願いし、市として適切な支援をしてほしいです。</p> <p>340) 道路上に生えている雑木を速やかに伐採してほしいです。</p>	<p>剪定をはじめとする街路樹の管理については、「街路樹」(P86)に記載のとおり、美しさと季節感、安全性と健全性等との両立を図り、取り組んでいます。また、街路樹サポーターをはじめ、落ち葉清掃等には多くの方々に御協力をいただいています。いただいた具体的な御意見は、街路樹のより適正な管理に向けて参考とさせていただきます。</p>
<p>341) 龍谷大学近くは緑が少ないと感じており、川沿いや道路沿いに緑があれば空気も良くなりそうに感じました。</p> <p>342) 夏の暑さ対策として、街路樹等のみどりをもっと増やしてほしいです。</p> <p>343) 住民の理解を得ながら、公園愛護協会のノウハウを活かし、道路脇の植樹等で身近なみどりを増やしたいです。</p>	<p>街路樹については、「みどりのはたらき」(P67)に記載のとおり、大気や水質を良好に保つはたらきや、京都らしい景観や風情を生み出すはたらき等があります。</p>
<p>344) 街路樹の問題について、市民が投稿しやすいよう、どのようなことをみつけ隊で投稿したらよいか紹介してほしいです。</p>	<p>街路樹の安全性や健全性の確保に向けて、落下しそうな枯れ枝など、お気づきの点についてぜひご投稿ください。</p>
<p>345) P86のケヤキ並木は「新林本通」ではなく、「桂坂中央通り」と思っています。</p>	<p>★ いただいた御意見のとおり修正します。</p>

<p>346) 先人の知恵を活かした雨庭など、景観と防災の両立を活かせるようなみどりの政策が更に進むことを期待します。</p> <p>347) 雨庭を増やしてほしいです。</p> <p>348) 雨庭に期待しており、二条駅周辺等への整備を進めてほしいです。</p> <p>349) 雨庭にもっと取り組んでほしいです。</p> <p>350) 公共雨庭を増設してほしいです。</p> <p>351) 家庭や事業所でも簡単に組み入れる雨庭の例を紹介することや、表彰制度などで普及を促進してはどうですか。</p> <p>352) 雨庭は鑑賞だけでなく、回遊できる庭園要素や景観的配慮を取り入れた設計にすべきです。</p>	<p>京都の雨庭については、日本庭園風の独自のものです。大雨時の防災に役立つものです。引き続き、雨庭の整備により、安心安全なまちや彩りある道路空間の実現に貢献します。</p>
<p>353) 雨庭の雑草を適切に刈り取ってほしいです。</p>	<p>いただいた御意見は、雨庭のより適正な管理に向けて参考とさせていただきます。</p>
<p>354) 雨庭のメリットや具体的な取組例をより丁寧に記載してほしいです。</p>	<p>雨庭の「おすすめACTION」(P86)において、「雨庭をくわしく知る」をクリックいただくと、雨庭のメリットや整備実績を紹介する京都市のホームページにアクセスいただけます。</p>
<p>355) 施策の方向性に「京都の文化と風情」「造園力の活力」を掲げるなら、庭園、坪庭の「民有のみどり」の取組内容も記載すべきと思います。</p>	<p>民有の庭園、坪庭における取組については、「おすすめACTION」(P87)に関連する内容を記載しています。</p>
<p>356) 市内には府立植物園のほかにも植物園等があり、市内の多様な植物園・植物関連施設の存在に言及することで、みどりの厚みや多様性をよりの確に示すことができるのではないかと考えます。</p>	<p>★ 植物園について、行政だけでなく企業や大学によるものがある旨は、「植物園」(P24)の本文に記載していますが、「植物園／御苑／御所／離宮／陵墓」(P89)において、いただいた御意見を踏まえ、本文を修正します。</p>
<p>357) ビルの屋上で庭園での人のつながりをつくることや、屋上に公園を創る補助金支給や規制などをしてはどうか。</p> <p>358) 東京の宮下公園のように、ビルの屋上の公園や緑地化を推進すると良いと思いました。</p> <p>359) 壁面緑化にはグリーンインフラの効果があり、植物があることで夏は涼しく冬は暖かく感じます。</p>	<p>屋上緑化及び壁面緑化は空間に限りのある中心市街地にみどりを生み出す有効な手立てです。いただいた具体的な御意見は、屋上緑化及び壁面緑化の今後の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>
<p>360) 住宅の植栽や生垣が増えるよう、モデルデザインの作成・普及、相談や、できれば助成などの取組を充実が望まれます。</p>	<p>住宅の植栽や生垣を含む敷地の緑化は、まちに生み出された貴重なみどりであり、モデルデザインの作成・普及・相談等については、敷地の緑化推進や、質の充実にあたって重要な取組であると考えています。いただいた具体的な御意見は、敷地の緑化の今後の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>
<p>361) 幼稚園の園庭にザクロの木があり、剪定は大変だと思いますが、木だけでなく実も見ても楽しめるので、大切に残しておいてほしいです。</p> <p>362) 大田ノ沢のカキツバタ群落は多くの参拝客が来ますが、深泥池とつながっていたのかなど、研究報告にも注目してみたい所です。</p> <p>363) 勤修寺は、ハスの花を鑑賞でき、貴重な時間を過ごせる場所だと思います。</p> <p>364) 椿寺と呼ばれ親しまれている地蔵院のツバキは、小さなお寺ですが見ごたえがあると思います。</p> <p>365) 今宮神社の境内に並んでいるマツが、これからも枯れることなく元気でいてほしいです。</p> <p>366) 東本願寺前広場は、歩行者が安心して過ごせるようになりまし。今後は広場を維持する為に、にぎわいと緑化をどう進めていくかも大事です。</p> <p>367) サクラの名所である仁和寺付近の地域の景観や街路樹はそのまま維持してもらいたいです。</p> <p>368) アジサイや多くの木々が植えられた藤森神社は、地域のいこいの場として今後も活かしていただきたいです。</p> <p>369) 社寺林など、敷地所有者と連携してより豊かにしていくことをサポートする方策が必要です。</p> <p>370) 平安時代以前からの自然や歴史を感じる糺の森は、いつまでも残しておいてほしいです。</p> <p>371) 地域のシンボルとなる樹木は、倒木事故への配慮とともに、地域住民の声を聞くことも必要だと思います。</p> <p>372) 魅力的な京都府立植物園を目指すため、情報交換やみどりの基本計画実施のための連携を今後とも図っていただきたいです。</p> <p>373) 京都府立植物園と京都市動物園による循環型社会の実現に向けた素晴らしい取組を、今後も続けていただきたいです。</p>	<p>京都では、庭園、社寺林をはじめ、まちやくらしに色々なみどりが息づいています。いただいた具体的な御意見は、各みどりにおける今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>

374)	地域住民が季節の草花を楽しめる武田薬品京都薬用植物園の一般公開は、毎回多くの方が参加する楽しい催しです。
375)	京都迎賓館をひきたてる周辺の樹木が、今後どのように手入れされていくか見ていきたいです。
376)	閑院宮邸跡の見所は縁側からながめる広い庭であり、縁側にすわって長時間ゆっくり過ごすことができます。
377)	京都御苑では、植木職人が伝統的な手法で樹木を手入れしていますが、技術の継続ができるか等が課題です。
378)	京都御所の中の素晴らしい庭園を引き続き手入れできるよう、次代を担う職人の育成を行っていただきたいです。
379)	街なかの住宅地にある鳥羽天皇安楽寿院陵などの陵墓に行く事で、都市の緑地や文化的なみどりを考えるのもいいと思います。
380)	マンションの公開空地が、地球温暖化や健康的な暮らしにどのような影響があるか、考えていくことが課題です。
381)	府立医科大学附属病院の敷地でサギ対策として剪定が行われましたが、みどりの取組を通じて、人間と野鳥の共生も考えたいです。

資料編に対する御意見
(意見9件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
382) 法定事項をまとめる構成は、優良事例として他部署にも広めてほしいと思います。	法定事項をまとめた構成については、本計画に関連する部署に情報提供します。
383) 前計画の振り返りを前方に配置し、現計画の根拠を明確にした方が良いと思います。	計画の構成については、市民や事業者、さらには京都に関わるすべてのみなさまと、京都の魅力的なみどり等を共有して、協力しながら一緒に取り組んでいく、との計画に込めた思いを踏まえ、「みどりの魅力」を発信する内容をあえて計画の前半に掲載しています。
384) 前計画の成果や反省を踏まえて、次期計画で何をしていくのかを明確に記載すべきです。 385) 前計画の目標未達成の原因について、もう少し詳しく分析結果を記載すべきと思います。	本計画においては、計画全体に渡って、過度に専門的かつ難解にならないように意図しています。 なお、前計画の成果等は「前計画の概要」(P93, 94)に記載しており、本計画は、「計画の背景とポイント」(P61)に記載のみどりに対する社会的期待等を踏まえ策定しました。
386) 「市民1人当たりの公園面積」の目標設定について、人口減少との兼ね合いはどうかと思いました。	人口減少社会においては、公園の減少がない場合、いただいた御意見のとおり、当該数値は年々増加します。
387) P94の施策例の記載間隔などのレイアウトに意味があるのかなと思いました。	★ いただいた御意見を踏まえ、施策の順番どおりに記載するとともに、テーマごとにまとめて示すよう、表を修正します。
388) 分かりやすさという点では、評価A～Eとするよりも、数値目標が圧倒的に分かりやすいと考えます。 389) モニタリングの評価方法や指標の内容について、より詳細な情報(具体的な評価手法、アンケート内容、政策の優先順位付けの手法)を公開してほしいです。 390) モニタリングのアンケート対象者の条件や人数を明記してほしいです。	モニタリングの詳細な内容や結果は、来年度以降に、有識者会議(京都市都市緑化審議会)での審議を経て、公開する予定です。いただいた御意見は、今後のモニタリングの実施に当たっての参考とさせていただきます。

その他の御意見
(意見26件)

御意見の要旨	御意見に対する考え方
391) あとがきの最終行のみ一字前に記載されているため、揃えてほしいと思います。	★ いただいた御意見のとおり、修正します。
392) 保護・創出・利活用の区分を色分けするなど、施策の目的を分かりやすく工夫してほしいです。	本計画における色分けや色使いについては、多色を用いると区分が明示される一方で、事務的な資料や煩雑な印象となると考え、色分けや色使いについては、できるだけ少なくし、シンプルですっきりしたレイアウトを意図しています。

<p>393) 雙ヶ岡（ならびがおか）、深泥池（みどろがいけ）などの難読地名はふりがなを打ってほしいと思いました。</p>	<p>読み方が難しい単語については、計画内の初出の箇所においてふりがなを記載しています。2回目以上の掲載箇所については、誌面が煩雑になることなどから再掲を控えています（例：雙ヶ岡（ならびがおか）はP8、深泥池（みどろがいけ）はP14）。</p>
<p>394) 適切な管理に向け、御土居の位置付けを知りたいです。</p>	<p>御土居は大宮交通公園にあるものを除き、国の史跡として保存されているものです。国の史跡に指定されている御土居は市内に9箇所ありますが、市有地・寺社有地・個人所有地に分かれており、基本的にそれぞれの所有者で管理しています。</p>
<p>395) 自然環境の良さをアピールし、移住促進や観光客の分散に活用してはどうですか。</p> <p>396) 森の整備や落葉樹への植え替えに関する補助制度があれば教えてください。</p> <p>397) 河川敷の景観や草地・樹木を守るため、周辺の葛の駆除対策を強力に進めてほしいです。</p> <p>398) シカやクマなどの野生動物との共存の視点が乏しく、林業としての生産性が乏しい里山の放置が問題ではないですか。</p> <p>399) 京都一周トレイルに関し、クマへの注意喚起とともに、クマの駆除、トレイル整備に京都市が支援を行うと明記してほしいです。</p> <p>400) 野外活動や森林環境保全活動を行う「緑の少年団」で活躍する子どもが、大人になってもみどりの取組に引き続き参加してほしいです。</p> <p>401) 水辺のゴミ投棄対策として、池のかいぼりや環境保全に努めてほしいです。</p> <p>402) 琵琶湖疏水の本願寺水道や円山公園への流れの復活にぜひ取り組んでほしいです。</p> <p>403) 鎮守の森や地域で守る祈りや信仰の場といった民有地の維持管理は、少子化や高齢化により困難になっています。</p> <p>404) 貴重な庭園を誇る寺院に行くプロセスも充実したみどりの空間として見るべきです。</p> <p>405) ふるさと納税等の市外からの税金をもっと活用し、重要な景観である緑を守ってほしいです。</p> <p>406) 民有地から公道へはみ出したみどりに対し、適切な指導や伐採を行ってほしいです。</p> <p>407) 花粉症対策の観点から、多様な種類の植物を植えてほしいです。</p> <p>408) 緑を増やして、その管理を市民に任せるのはおかしく、掃除への金銭的なお礼があってもいいと思います。</p> <p>409) 公園などの公共場所での禁煙やポイ捨て禁止を徹底し、罰則を含めた制度改正を検討してほしいです。</p> <p>410) 日本庭園の本場である京都の造園業の振興、技術継承の支援を盛り込んでほしいです。</p> <p>411) 「京都らしいみどり」は社寺仏閣、町家と切り離せない。町家の消失は加速しているように感じており、造園部局と建築部局がより連携すべきだと思います。</p> <p>412) 道幅の狭い道が多く、道路沿い緑地を放置せず、市街化調整区域であろうと、美しく快適な歩行空間を確保していくべきだと思います。</p> <p>413) みどりの多様性と重要性を唱えるのであれば、社会情勢を都合の良い言い訳にすべきではありません。</p> <p>414) 計画の構造は理解しにくかったが、意見募集冊子を見ることで理解が進みました。</p> <p>415) パブリックコメントにおいて、なぜ興味や共感した章を必須回答なのか、理由がわかりません。</p> <p>416) 小学生にも参加しやすいパブコメがあるととってもうれしいです。</p>	<p>京都における「みどりの魅力」は、貴重な財産です。いただいた具体的な御意見は、今後の施策の検討・展開の参考とさせていただきます。</p>